TOSHIBA
Leading Innovation >>>

２０１２年６月１８日
東芝プラントシステム株式会社
（東証一部、証券コード：1983）

副生ガス焚きコンバインドサイクル発電設備を受注

当社はこの度、ＪＦＥスチール株式会社が東日本製鉄所千葉地区に建設するコンバインドサイクル発電設備を受注し、正式契約致しました。

受注した発電設備は、製鉄の製造工程で発生する低発熱量の副生ガスと、都市ガスを燃料とする出力１５万ｋW 級のガスタービンを採用したコンバインドサイクル発電設備で、当社はＥＰＣ*契約者として、発電設備の供給、据付、試験・調整を請け負いました。現在、エンジニアリング業務を開始しており、現地着工は 2013 年 9 月、2015 年 6 月末に完成の予定です。

本発電設備は、省エネルギー・高効率化を目的とした、自家発電設備のリフレッシュ計画であり、既設蒸気タービン発電設備の一部を流用し、新たにガスタービン設備を追加し、副生ガスをより効率的に使用するガスタービンコンバインドサイクル発電設備を建設するものです。

当社グループはこれまで、国内外の産業用火力発電設備におけるＥＰＣプロジェクトやタービン・発電機設備などの予防保全、設備の性能改善、及び信頼性向上等の改良保全事業に取り組んで参りました。本件はこれらの実績を評価いただき、受注につながったと考えております。

今回の副生ガス焚きによるコンバインドサイクル発電設備をはじめとして、今後の燃料多様化に応えた発電所の建設など、クリーンなエネルギー構築を通じて社会に貢献いたします。

*EPC：Engineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（施工・試運転）までを一括受注し履行する。

以　上

本件に関する問合せ先
東芝プラントシステム株式会社　　業務部　広報担当
e-mail：kouhou@toshiba-tpsc.co.jp　TEL：045-500-7011